

発言通告書（総括表）

令和5年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	入山議員 (次世代)	<p>1, 令和4年度の決算と令和6年度予算について</p> <p>2, 子どもの育ちと学びを支援する千代田区流の支援策</p> <p>3, 自転車交通マナーの啓発活動・自転車道整備</p> <p>4, 商工観光と地域の課題を解決する支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の決算を審議するにあたり、区の認識している課題についてうかがう。 ・決算の振り返りを踏まえた令和6年度の予算の方針案について問う。 ・補正予算で示された、本区の地域特性と経済情勢を踏まえた「総合的な子ども・子育て支援」の推進についてうかがう。 ・さくら館の拡充による、地域課題の解決について。 ・令和の日本型教育を推進するにあたり地方教育行政のあり方が示された。各校の方針転換にあたり学校運営の支援のために教育委員会が果たすべき役割についてうかがう。 ・給食費無償化に向けた準備が進んでいる。これを機に給食をとおして、社会の課題を知り解決策を考える食育の推進について提案する。 ・自転車交通ルールマナーを警察署と連携して区民の皆様に講習会など実施するのが有効と考えるがいかがか。それに伴い、千代田区道の自転車道を整備する必要があると思うが見解をお聞かせいただきたい。 ・コロナ禍で商店街の感染対策や事業の継続を各種助成制度で直接の支援があった。それぞれの事情に添った支援策について。 ・来街者の増加で商店街や観光地に賑わいがもどるなか、飲食店の生ごみ増などで町の美化やネズミ対策に苦慮している。これまでの取組みの成果と課題、効果的な解決策の検討についてうかがう。 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	小林議員 (自民党)	<p>1. 令和4年度決算について</p> <p>2. 区有施設の整備や管理運営の手法について</p>	<p>予算の流用について</p> <p>手法選択の理由と導入時と運営後における成果、効果について</p> <p>施設整備や管理運営手法の選択にルール作りの必要性について</p> <p>民間開放における判断基準の見直しについて</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和5年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	小林議員 (自民党)	3. 高齢者施策について 4. 公衆喫煙所の確保について	介護保険事業計画改定について 認知症施策について 積極的な公衆喫煙所設置について (待ちの施策から攻めの施策への転換)	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
3	永田議員 (自民)	民間の人材活用と副区長二人 体制について 給食費無償化について LGBT施策について	副区長2人体制になってから半年が経過したが変化はあったのか。専門分野、管理職への民間の人材活用について区の方針を問う。 本区は恒久的な財源確保、私立学校との公平性の観点から、給食費無償化には慎重であった。代わりに子育て・教育給付金5万円を所得制限無しで支給して対応している。給食のありかたについて方針を問う。 国の理解増進法により自治体での取り組みが必要になった。偏見や差別をなくすことは当然だが、本区で作成したLGBTQを知るハンドブックでは多様性を強調するばかりで課題については触れられていない。特に自己認識が明確でない時期に多様性を教えることは慎重な判断が必要である。本区の方針を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
4	米田議員 (公明)	令和4年度決算と来年度予算 について 奨学金返済支援制度について	・令和4年度決算を総括し、現状と課題をどのように分析したのか。また今年度の事業執行や来年度の予算編成にどのように反映させていくのか。 ・本格的なアフターコロナの時代に入り、区民サービスを低下させない為に基金や未利用地の利活用も含め、これからの財政運営をどのように進めていくのか ・奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減する「奨学金返還支援制度“全額肩代わり”」制度の推進について伺う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和5年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	米田議員 (公明)	障がい者差別解消法の改正について 中小企業・小規模事業者支援について ペロブスカイト太陽電池について	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者差別解消法の改正について ・障がい者のための音声コードの利用促進について ・サイバー対策について ・インボイス制度支援策について ・土・日・祝の相談体制について ・次世代の太陽光発電と期待されているペロブスカイト太陽電池を、日本国内の屋外に実証的に設置する試みが増えつつある。そこで本区も施設の提供、当該事業の発信など行ってはどうか。 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
5	はまもり議員 (声)	人口減少×AI進展×複雑化する現代に必要な対応について 1. 区の組織力向上のため、多様性をいかに活かすか ～ダイバーシティ&インクルージョン～ 2. 公立中学校における教育方針等について 3. 住民参加・民意の確認手法について	<ul style="list-style-type: none"> ①部署間で女性管理職の割合に偏りがあるが改善は ②心理的安全性を高める具体的な取り組みは ③各種協議会における選定基準の見直しは (多様性の確保) ①麴町中学校の教育方針変更について ②同校における2014年からの「改革」成果は ③同校の制服協議会等の活動から得られた成果と今後について ④公立中学校二校と九段中等教育学校の目指す学校像等、特色の違いは ①第4次基本構想の策定にあたり、実施した無作為抽出による区民討論の成果は ②他の分野における上記手法の活用検討は ③ネット等を活用した住民参加手法の検討は 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和5年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	春山議員 (維新)	①DXの推進状況について ②住居系複合市街地の拠点開発の公共貢献のあり方について ③道路の活用と子ども遊び場空間の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・本区のDX戦略における各テーマ・フェーズ毎の具体的なスケジュール、その進捗状況、及びそれに伴う予算の消化状況について ・本区のデジタルデバインドの取り組みについて ・デジタルデータを使った政策デザイン(都市のスマート化)への取り組みについて ・良好な住環境の維持と商業業務地開発の整合性について ・住居系複合市街地の拠点開発で創出される空間の公共貢献性と住環境の向上にも資するデザイン・マネジメントのあり方について ・公園及び児童遊園等整備の進捗状況と住民意見を集める際の告知デザインについて ・遊びの支援やマネジメントの推進による道路の利活用について ・公共空間/既存ストックの更なる利活用をしたまちづくりについて 	区 長 関係 理事 者